

令和7(2025)年 ハタハタ情報 No.2

令和7年11月4日発行

北海道立総合研究機構 中央水産試験場 資源管理部

Tel : 0135-23-8707 Fax:0135-23-8709

後日、インターネットからもご覧いただけます↓

マリネット北海道 : <http://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/index.html>

道総研水試調査船北洋丸によるトロール調査（留萌沖）の結果を報告します。

【調査概要】 2025年10月23～24日に留萌沖の水深191～412mの7調査点でトロールによる漁獲試験を行い，そのうち3調査点で合計7尾（0歳）のハタハタを採集しました。

- 1～3歳魚は採集されず、前年より減少しました。
- 0歳魚の採集尾数は7尾で前年より増加したものの、依然低い採集密度でした。
- 雄冬沖の水温は表層～深度100 mでは過去5年平均（2020～2024年）と比較して0～3℃低く，100～200 mでは平均0.6℃程度低い水温でした。

1. ハタハタの採集状況

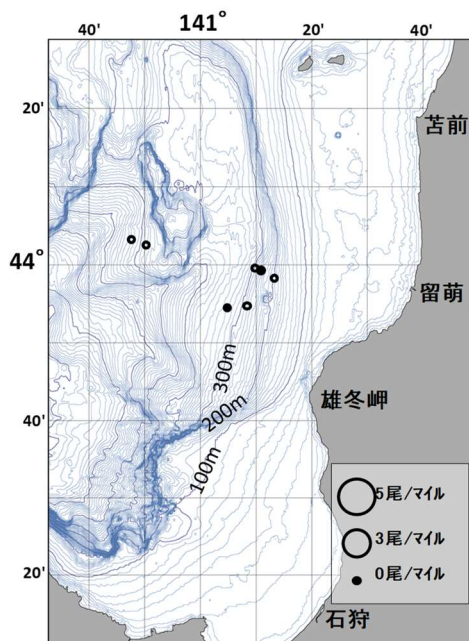


図1 2025年10月のトロール調査によるハタハタ採集密度（1～3歳）

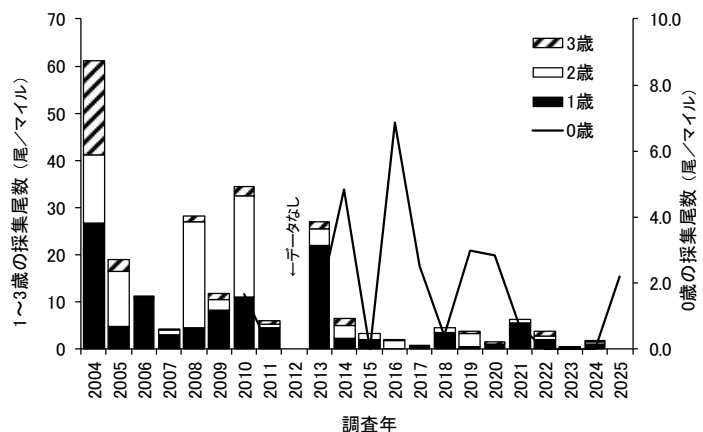


図2 10月のトロール調査によるハタハタ採集密度の経年変化

留萌沖でトロール調査を7回実施し，そのうち3調査点で合計7尾（0歳：7尾，1～3歳：0尾）のハタハタが採集されました（図1）。0歳および1～3歳の1マイルあたり採集尾数は依然として低い採集密度でした（0歳：2.2尾，1～3歳：0尾．図2）。

2. ハタハタ（1～3 歳）の体長と年齢

今回の調査では1～3 歳の漁獲対象サイズのハタハタは採集されませんでした。

3. 成熟状態

ハタハタは成熟（生殖巣の発達）が進むにつれ、沿岸に移動して産卵することが知られています。雌の体重に占めるブリコ重量の割合（GSI）は産卵が近づくにつれて高くなり、沿岸に来遊する頃には40%前後となります。

10 月分は漁獲対象サイズのデータがないため、9 月の調査結果と併せると今漁期の石狩湾前浜への来遊は11 月中～下旬が見込まれ、今後の水温や海況に応じて来遊時期が前後すると考えられます。

4. 水温（図3）

今回の調査中に実施したCTDによる雄冬沖（北緯44度，東経141度）の表層から底層にかけての水温観測結果を，過去5年（2020～2024年）の平均値と併せて図示しました。

表層から深度100mでは，過去5年平均と比較して0～3℃低く，100～200mでは過去5年平均より平均0.6℃程度低い水温でした。

5. 今後の調査など

今年度の留萌沖での調査船によるトロール調査は終了です。関係漁業者の皆様，調査へのご配慮ありがとうございました。今後は，各漁業による漁獲物の標本採集調査などを実施いたしますので，重ねてご協力をお願いいたします。

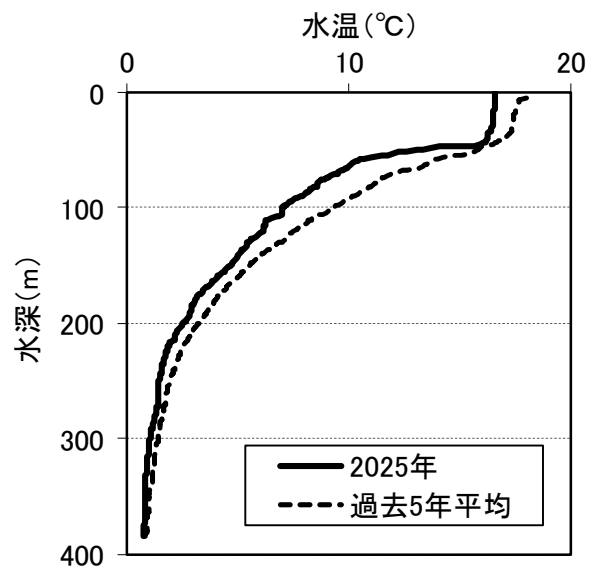


図3 雄冬沖（44° N, 141° E）における10月中旬の鉛直水温